

令和4年度 一般選抜後期日程
小論文（環境学部） 出題のねらい

本課題文は、人類におけるモラル（道徳）の起源について論じたもので、課題文とした部分は、特に初期人類における協働採食行動において必要となった相互依存性から「公正の意識」が生じた過程について述べたものである（なお、今回はカットした後半部では、さらに人口規模が拡大し、人類の社会性が増す中で、文化的規範が生じた過程について述べている）。つまり、適者生存を原則とする進化論的論理（己の適応度を最大化することが進化の原則）に基づいて、他者を助け他者に対して公正であるべきという感覚（すなわちモラル）が、人類の生存上必要不可欠な過程であったことを説明しているものである

問1と問2は課題文の内容の理解度を見極めるものである。問3は解答者の現代の社会問題に対する意識と分析力、さらには課題解決力（提案）を見極めるものである。